

平成27年度 第2回宇都宮市総合教育会議 議事録（概要版）

- 1 日時 平成27年 8月18日（火） 午後4時15分～午後5時
2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
3 出席者
（構成員） 佐藤市長，
大場教育委員長，若度教育委員，伊藤教育委員，山田教育委員，
水越教育長
（関係者） 篠塚教育次長
（事務局） 高橋学校教育担当次長，梓澤教育企画課長，掛布教育企画課長補佐，
教育企画課職員（田上係長，山越総括主査，渡邊主任主事）

4 傍聴者 2名

5 議題

- (1) 宇都宮市教育大綱（素案）について
(2) その他

6 議事の内容

篠塚教育次長 ただいまから，平成27年度第2回宇都宮市総合教育会議を開会いたします。はじめに，佐藤市長からごあいさつをお願いいたします。

佐藤市長あいさつ

篠塚教育次長 続きまして，大場教育委員会委員長よりごあいさつをお願いします。

大場委員長あいさつ

篠塚教育次長 それでは議事に入りますが，議事の進行については，市長にお願いしたいと思います。佐藤市長，よろしくをお願いします。

佐藤市長

それでは早速，議事に入ります。

「議事（1）宇都宮市教育大綱素案について」ですが，前回の総合教育会議におきまして，本市の教育大綱については，宮っこ未来ビジョンの基本理念と基本目標を位置づけることとしたところであります。

今回は，教育大綱を素案としてまとめてまいりましたので，教育委員会の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

まずは，事務局から説明をお願いします。

議事(1)（仮称）宇都宮市教育大綱について

【事務局説明概要】

・（仮称）宇都宮市教育大綱素案について

佐藤市長

本市の教育大綱については，教育の根幹となる人づくりの考えなどを示した「宮っこ未来ビジョン」となりますが，教育大綱の中に，私の教育に対する考え方や思いを盛り込ませていただきました。教育行政に対する市長としての重要な役割は，教育委員会が効果的に教育行政を推進できるような教育環境の充実を図ること，また，様々な教育課題等に対応できるような教育委員会と緊密に連携を図っていくこと，この2つだと考えております。

今後とも，今回策定するこの教育大綱をもとに，人間力の高い心豊かでたくましい宮っこが育まれますよう，総合教育会議を通して市と教育委員

会が一丸となって本市教育のよりよい教育環境を作り推進してまいりたいと思います。

それでは、教育大綱素案について、教育委員会の皆様からご意見等をいただきたいと思います。

大場委員長

教育大綱素案を確認させていただき、本市の教育の目指す方向性など、市長の教育に対する考えや思いが、この大綱の中に示されており、教育委員会としてはとても素晴らしい内容であると思えました。

また、教育大綱素案の「重点的に講ずべき施策の方向性」に示されておりますように、毎年度の教育委員会基本方針について、今後は市長と協議させていただいた上で策定することになり、より一層市長と連携した教育行政の推進ができるものと期待しております。

今後とも、市長と教育委員会が一丸となって、本市の教育行政の充実のため、様々な施策等に取り組みたいと感じたところです。

若度委員

ただいま大場委員長がおっしゃられたとおり、市長と教育委員会で組織横断的に取り組むことが力強く記載されておりますので、この教育大綱がよろしいかと思えます。

佐藤市長

宮っこ未来ビジョンについては、ビジョンを策定した背景にもありますとおり、各世代において様々な課題がある中、子どもだけでなく全世代の人間力を高めることで、それが子ども達の教育に繋がっていくという私の思いをもとに、ビジョンとしてまとめていただきました。教育は一朝一夕にはできない難しい大きな課題でありますので、市民オール一丸となって、大人も子どもも取り組まなければなりませんし、特に、大人の間接力を高めていく努力をしていかないと、子ども達への高い人間力を備えた教育を提供することはできないと思えます。

また、大場委員長や若度委員からもありましたが、これまでも市と教育委員会の連携・協力してきたことを、今後も手を緩めずにやっていきたいと考えています。

山田委員

教育委員会だけでなく、予算面なども含めて市長と連携していかなければならないと思えますが、佐藤市長は教育を大事に考えてくださっているので、とても心強く思っています。

伊藤委員

宮っこ未来ビジョンは10年前に策定したものですが、その頃から現在の課題をきちんと捉えていると考えています。教育は子どもだけではなく、市民全員が各ライフステージに必要なことでありますので、ぜひ推進していきたいと思っておりますし、市長と教育委員会が連携して取り組んでいかなければならないと感じています。

水越教育長

伊藤委員からもありましたが、宮っこ未来ビジョンは10年前に策定したものです。古いのではなく、今だからこそこういったビジョンが必要であると考えています。教育委員会では、これまでも宮っこ未来ビジョンに基づき様々な教育改革を進め、心豊かでたくましい宮っこを育てるための施策事業に取り組んでまいりました。今回、宮っこ未来ビジョンが教育大綱に位置づけられたことで、さらに充実発展させていきたいと思えます。

佐藤市長

教育委員の皆様には、今後も学校などの教育現場を重視し、また、教育現場の実情について、総合教育会議などで市長部局にお示ししていただきたいと思ひます。

それでは、他にご意見がなければ、策定に向けた最終調整を私の方で取りまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(一同了承)

佐藤市長

今月中には、教育大綱を策定したいと思ひます。
ありがとうございました。

議事(2) その他

佐藤市長

次に「その他」といたしまして、教育委員会の皆様と意見交換をさせていただきたいと思ひます。テーマは、「教育大綱の推進に向けて」ということで、本市の教育大綱を推進していく上での考えなどについて、自由に意見交換をしたいと思ひます。

教育大綱の推進にあたりましては、「人間力」が重要なキーワードになると思ひます。そこで、「人間力の向上」に向けた人づくりの考えなどについてご意見をいただきたいと思ひます。

まず私からですが、大人のモラル・マナーの問題が顕著化している中で、大人が子ども手本となるよう、大人の人間力向上に向けた取組にかかる考え方が重要であると思ひます。教育委員の皆様から大人の人間力の向上についてのご意見を伺いたいと思ひます。

大場委員長

大人の人間力を向上させることは難しいと思ひますが、大人としての自覚と誇りを持つことが重要だと思ひています。そのためにも、まずは市で取り組んでいることを市民に知ってもらうことが必要であり、教育委員会策定した広報プランを活用し、市の取組をどんどん発信していきたいと考えています。

山田委員

最近の卒業式に出席すると、PTA会長の祝辞で紙に書いた祝辞を読まず、祝辞の紙を壇上に置かない人が多いですが、卒業式では祝辞は壇上に置くべきものだと思います。そのようなしきたりなどは、市P連などを通して学んでもらいたいと思ひます。また、学校の公開授業などでは、授業参観などで立ち話や携帯を利用している保護者も多く、とても残念に思ひます。そういった保護者は、PTA総会にも出席しないので、何か策を講じないといけないと感じています。

佐藤市長

PTA総会に出るような保護者は問題ないのかもしれませんが。総会に出ない保護者にいかに伝えていくかが課題です。家庭教育や地域教育、学校教育を一体となってやらなければならない大切さを知ってもらう必要があり、そのためには、まず親としてしっかりとした姿勢を子どもに見せないとはいけません。

水越教育長

社会総ぐるみの人づくりでは、大人が子どもの手本となることが重要ですが、その仕組みについて現在考えています。人づくりフォーラム、あるいは社会教育の中で、どのように取り組んでいくのか検討していますが、

なかなか難しいものです。

佐藤市長

大人のモラルは、教育委員会だけの問題ではなく、色々な場面で大人のモラル欠如が指摘されています。フォーラムに参加しない方々にどう伝えていくかが課題です。

山田委員

マナーを守らない人が恥ずかしい世の中にならないといけません。マナーを守らない人に対して、私たちから注意すると聞き入れてもらえないことが多いですが、企業側から注意すると聞き入れてもらえます。企業にも呼びかけをして、取り組んでいくことも重要だと思います。

佐藤市長

教育に企業を取り込んでいく大きなメリットは、財政面の他に、企業が抱える社員に伝えていくこともできますので、企業に入ってもらいたいと思います。食育などは、企業の力もいただきました。食育については、お弁当などで保護者も関わるものなので、こういったことをきっかけにし、ルールやマナーを守ることの大切さ、親としての子どもへの接し方など、自分の人間力を高めるまでいければありがたいと思います。

水越教育長

他から指摘されても直らない方や、ルールやマナーを知らないからできない方も多いと感じます。今まさに、何か策を講じていくことが必要だと思います。

佐藤市長

自治会などでも様々な取組をしていますが、まだまだ進めていかなければなりません。今回策定した教育大綱が羅針盤となりますので、企業や自治会の方々に見ていただき、浸透していけばいいと思います。

大場委員長

色々な年代の方が一緒に活動することは簡単なことではないと思います。PTAなどはある程度同じ年齢層になりますので、縦の関係を築くためには、やはり地域の活動だと思います。同年代同士では注意しにくい部分も、年上の方からは注意しやすいと思いますし、あるいは若い方が年配の方の所作を見て学ぶこともあります。色々な年代の方とコミュニケーションをとっていくことが大切だと思います。

山田委員

地域の中のお年寄りが持っている知恵を、我々を経由し若い世代に引き継いでいきたいと考えているところであり、学校のクリーン作戦などで、民生委員の方に子ども達に雑巾の絞り方などを教えていただく取組をしています。

佐藤市長

民生委員・児童委員は経験豊かであり、地域の実情もよく知っている方々ばかりなので、子ども達だけでなく、学校の先生方との交流も持ってもらうのもいいかもしれません。最近では、私も各学校に出向き授業を行っていますが、学校へ行くと感じるのは、子ども達は活発で、よく勉強しています。子ども時代はみんないい子なので、それが大人になると変わってしまいます。やはり義務教育はしっかりやらないといけませんし、それが大人の責任だと思います。

それではそろそろ時間となりますので、最後に私から一言お話ししたいと思います。

これまでも、各家庭や学校、地域の皆様、企業の方々、そして行政が、人間力を向上するための人づくりを推進するにあたって、それぞれが役割を担い、人づくりに取り組んでいただいている中において、その人づくりの最前線での活躍が期待される教員が危険ドラッグを使用するという事件を起こしたことは、本当に申し訳なく思いますし、誠に遺憾なことであります。教員が真剣になって子ども達のために取り組むことで、家庭、地域、そして企業に協力をいただける、こうした社会全体で教育を行う環境が整えつつある中で、今回の事件は、学校に協力いただいている方々、そして一生懸命頑張っている他の教員を裏切ったことだと思います。これから我々はしっかり眼を光らせて、教育に力を入れて取り組んでいかなければならないと考えています。特に、教員の服務規律確保という点も重視していかなければなりませんし、皆様にも御協力いただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。教育は市、国の力の源だと思いますので、これからも力添えをお願いします。

水越教育長

今後、服務規律の徹底については、強化していかなければなりませんし、信頼される学校、信頼される教員の育成に努めていきたいと思えます。

篠塚教育次長

それでは、時間となりましたので、以上で、平成27年度第2回宇都宮市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。